



上部のマスコットキャラクター
円心くんとエイトちゃん

さわやかに 歴史と未来の 出逢うまち

ぶがみ ぶがみ ぶがみ

議会だより

No.65

平成20年 [2008]
5月15日発行

平成20年度一般会計 特別会計予算	P2~4
施政方針・ 委員会付託審査	P5~6
委員会の活動報告	P7~8
一般質問	P8~13



きれいに咲いた桜の下で！

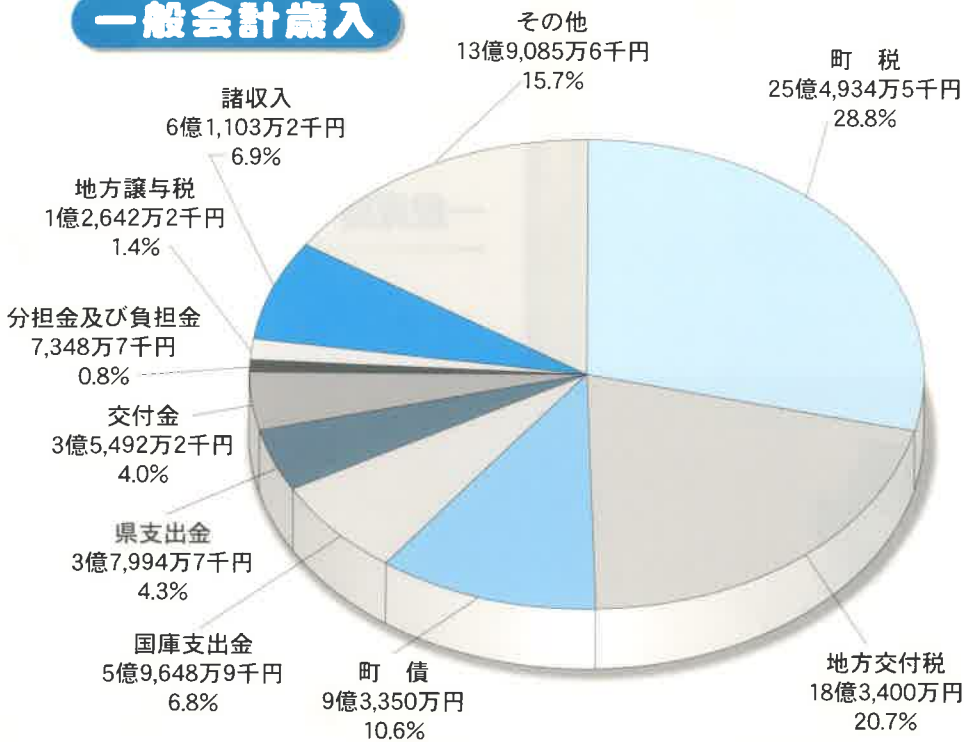
平成20年度予算を可決

一般会計 88億5,000万円

特別会計 56億5,868万3千円

総額 145億868万3千円

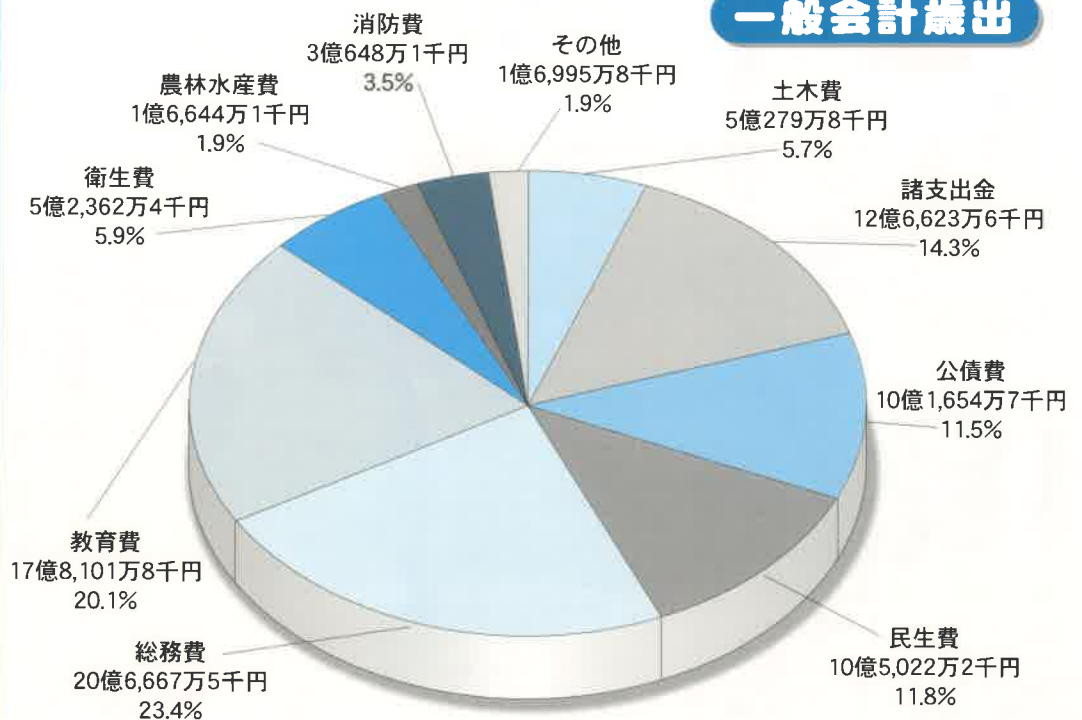
一般会計歳入



定例議会を3月4日に開会し、監査報告など諸報告、11名の議員による町政についての一般質問に続き、固定資産評価審査委員選任の同意、町道認定、条例の制定及び条例の一部改正、平成19年度予算補正を行いました。

次に町長の施政方針演説と、それに対する質疑に続いて、平成20年度一般会計並びに特別会計の当初予算など合わせて40議案と同意1件が上程され、慎重審議の結果、引き続き継続審議とした上郡行政評価条例制定の1議案を除いて、すべてを原案どおり可決し3月25日に閉会しました。

一般会計歳出



ケーブルテレビ整備に
12億5,000万円

定期監査報告における主な意見

- 改善または検討を要するものは、次のとおり
- 備品の取扱いは全課統一の管理方法を早急に整備
- 学校・幼稚園の遊具管理台帳が未作成、教材に使う劇毒物管理は特に注意
- 公文書・出勤簿の修正液修正は要改善
- 振替休日の執行はできる限り早く
- 時間外勤務の内容を吟味し指示・指導
- 小学校・幼稚園統廃合の枠組みを早急に
- 事務の効率化を図るために全職員を対象に提案制度の利用を実施
- 業務の執行は接客対応、勤務時間内の行動、態度等に注意

各会計予算総括表

(単位：千円、%)

会計名	平成20年度	増減額 (前年度比)	増減率	会計名	平成20年度	増減額 (前年度比)	増減率	
一般会計	8,850,000	△125,000	△ 1.4	農業集落排水事業	303,549	17,661	6.2	
特別会計	住宅改修建設資金貸付事業	3,500	△ 1,030	△ 22.7	公共下水道事業	1,080,693	△ 444,199	△ 29.1
	国民健康保険事業(事業勘定)	1,769,735	△ 5,977	△ 0.3	山野里工業団地造成事業	0	△ 146,180	皆減
	国民健康保険事業(直診勘定)	53,735	△ 557	△ 1.0	公営墓園事業	28,867	△ 638	△ 2.2
	老人保健医療事業	319,762	△1,607,717	△ 83.4	小計	5,040,649	△2,019,401	△ 28.6
	後期高齢者医療事業	211,164	211,164	皆増	水道事業	618,034	△ 264,612	△ 30.0
	介護保険事業	1,190,428	△ 77,955	△ 6.1	特別会計小計	5,658,683	△2,284,013	△ 28.8
	簡易水道事業	79,216	36,027	83.4	合計	14,508,683	△2,409,013	△ 14.2

討論

一般会計当初予算案

反対討論

(工藤 崇議員)

- ・公約である給食が未計画である。
 - ・安室ダム水道用事業を見直し、廃止するべきである。
 - ・押し付け的な人権啓発事業をやめ、身近な地域同士の安全コミュニケーション作りを行うべきである。
 - ・不公平な都市計画税の見直し、廃止を検討すべきである。
 - ・保育料値上げはするべきではない。
- 以上の点で本案に対する反対討論とする。

賛成討論

(高尾勝人議員)

歳出削減において行革の反映等ある程度の評価はするが、より公正と透明性を願うものである。特に不透明な委託料や温暖化防止策と給食の対応については不本意である。

しかし町民生活の安定と投資的事業を考慮すれば賛成と言わざるを得ない。今後断固とした行革推進と費用対効果をもって財政健全化を図るべきことを望み「本案に賛成」とする。

(大政正明議員)

賛成の立場で討論する、但し公害監視委託料は財政処理上問題もあり先例とすべきでない。監視施設の充実、持込業者の指導、危機管理体制の完備により、処分場への地元住民の不安を払拭する方策をとるべきものと考ええるが、予算案には千種川河川改修、地デジ関連等の住民にとり極めて重要な事業費が含まれており、賛成する。

平成20年度 まちづくりの主な事業

議会費・総務費

21億7,294万6千円

議会費 1億627万円
 西播磨テクノポリス建設促進経費 7,940万円
 電子計算機運用管理経費 8,077万円
 ケーブルテレビ整備経費 12億5,218万円



民生費

10億5,022万2千円

心身障害者福祉経費 2,341万円
 障害者(児)支援経費 1億8,395万円
 在宅福祉経費 1,435万円
 施設福祉経費 2,458万円
 老人医療費助成経費 2,602万円
 重度心身障害者医療費助成経費 2,294万円
 乳幼児医療費助成経費 4,383万円
 母子家庭等医療費給付経費 675万円
 高齢重度心身障害者特別医療費助成経費 1,890万円
 老人保健福祉医療一般経費 697万円
 後期高齢者医療費 1億4,764万円
 児童措置経費 2億4,875万円

衛生費

5億2,362万4千円

保健事務経費 7,173万円
 予防接種経費 1,792万円
 訪問看護ステーション経費 1,086万円



農林水産費

1億6,644万1千円

農業振興事業経費 516万円
 かんがい排水事業経費 1,413万円
 土地改良一般経費 1,211万円



商工費

5,368万7千円

観光振興経費 1,468万円



土木費

5億279万8千円

上郡駅前土地区画整理経費 1億3,955万円
 まちづくり交付金事業経費 9,341万円



消防費

3億648万1千円

常備消防経費 2億4,873万円
 消防団運営経費 4,043万円



教育費

17億8,101万8千円

学校建設事業経費 11億4,450万円
 青少年健全育成経費 775万円
 公民館活動経費 3,690万円
 生涯学習支援センター活動経費 1,323万円
 埋蔵文化財発掘調査経費 1,974万円
 体育施設一般経費 1,645万円



公債費

10億1,654万7千円

長期償還元金 8億1,714万円
 長期償還利子 1億9,938万円
 公債諸費 3万円

諸支出金・予備費

12億7,623万6千円

町長の施政方針

健康で安心できる まちづくり

- 高年福祉係を新設し、高齢者福祉対策強化
- まちぐるみ健診に生活習慣病等とメタボリック対策を取り入れ特定保健指導を実施

豊かな自然を活かした 魅力あるまちづくり

- 里山ふれあい森づくり事業、里山市民森林事業に取り組み
- 兵庫県、たつの市、佐用町と一体で町の特長をいかした企業誘致

文化を育み、心ふ れあうまちづくり

- 白旗城、山陽道野磨駅家跡、赤松円心や大鳥圭介など観光資源を活かしイベントを実施
- 夢をひらく教育、すべての

児童・生徒に生きる力を育成

- 上郡中学校の開校は21年度
- 放課後子ども教室を実施、安全で安心の居場所づくり

元気ににぎわいを 生みだすまちづくり

- 上郡駅のバリアフリー化本年度完成の予定
- 赤字路線バスの撤退に備え、地域公共交通会議を設置
- 南部幹線道路は、本年度完成
- 赤松・与井の両水源地に浄水施設を整備
- ケーブルテレビ整備事業に着手、町民負担軽減に努力

住民が主役となる まちづくり

- パブリック・コメント制度の導入
- 徹底した行財政改革の推進
- 郵便応募型一般競争入札の導入

付託委員会報告

総務文教常任委員会

さらなる行政改革を…

事業の進捗状況を踏まえた計画である。

採択

● 行政評価制度の導入

行政における事務事業について住民の意見や第三者機関の意見を反映する仕組みを作り、その評価に基づいて継続、廃止、拡充、縮小を精査する。そのため行政評価条例制定について審議した。

質疑

○ 委員の選定は？
― 国・県のOBなどを予定している。

○ 評価対象基準は？
― 町単事業に対して行い、国や県からの補助事業は評価対象としない。

○ 実施は？
― 決算終了後の見込みである。

意見

条例のみでなく、規則等を整備した上で内容を十分理解し、審議すべきである。

継続

幼稚園保育料が
300円アップ

● 幼稚園保育料徴収条例の改正

改正

質疑

○ 子育て支援に反するのではないか？
― 物価の上昇など社会情勢からやむをえない。これを機会に保育環境の整備、内容の充実とともに家庭との連携を図って子育て支援を充実させたい。

採択

スポーツセンター
使用料値上げ

● 上郡町スポーツセンターの設置及び管理運営に関する条例の改正

19年に国体に関連して施設の大規模改修や更新、新設を行ったが、使用料金は20年前から改定していない。施設の現状維持、財政の健全化をふまえ、平均24・8%の増額を行う。

質疑

○料金改定で利用者が減るのではないか

―町民への負担を最小限にとどめ、財政状況、施設の管理・利用状況など総合的に判断し、設定した。青少年の活動、ならびに体育協会関係等については減免、免除としている。

採択

土木水道常任委員会

水道事業の見直し

●上郡町水道事業の設置に関する条例の改正

(旧) 給水人口

17,477人

1日最大給水量

13,200m³

(平成18年度実績)

(新) 給水人口

16,400人

1日最大給水量

10,400m³

第5次拡張事業に伴う変更時の予測と整合が図れず、将来人口の減少や節水意識によ

る水需要の減少が予想される事からの改正である。

質疑

○推計と現実に誤差が生じないのか?

―合理的に推計された数値である。

○人口の減少などに伴う有収水量の見直しはどうか。

―有収水量は減少が見込まれる。

採択

厚生経済常任委員会

医療・国保・福祉・企業立地条例が4月から変わります

●後期高齢者医療制度の条例

―県広域連合の制度による町の事務等についての条例。

意見

―新しい制度であり、内容も複雑である。町民に十分周知してほしい。

●国民健康保険条例の改正

―国保現金給付の葬祭費を3万円から5万円にアップ

●国民健康保険税条例の改正

―後期高齢者支援金分の税率

平等割 3,000円

均等割 4,000円

所得割 1・7%

―以上が新たに創設された。

―医療費の税率は、新たに創設された税率相当分が控除される。

(改正)

平等割 2万3,000円

均等割 2万3,000円

所得割 7・2%

資産割 10%

○支援金税額の見直しは?

質疑

―後期高齢者医療費の4割相当額であり、毎年見直される。

○当町への影響は?

―県下の医療費が平準化されるため、医療費の高い市町は助かる。

―町民への十分な周知を。

●福祉医療費助成条例の改正

―現行の老人保健法が廃止となり、後期高齢者の医療の確保に関する法律を準用するため、条文の文言訂正をする。

意見

―新たに精神障害者福祉年金支給条例の改正

―新たに精神障害者の方も支給対象となるが、支給月額をそれぞれ1,000円の減額に改正となる。支給資格についても、支給停止の条項等も追加されている。

改正後の対象者は精神障害者の方が34名増、全体では67名減の315名。総支給額は972万円(約700万円減)の見込み。

●企業立地促進条例の改正

―地域における産業集積の形成及び活性化に関する法律の同意を得たため、条例を改正する。基本計画では、「目標達成に向けて地元市町の優遇措置等の拡充を図るなどの環境整備を行う」とあり、上郡町、佐用町、たつの市における制度の統一を図ることから工場緑化奨励金、雇用奨励金について改正する。

●重度心身障害者福祉年金

支給条例の改正

―新たに精神障害者の方も支給対象となるが、支給月額をそれぞれ1,000円の減額に改正となる。支給資格についても、支給停止の条項等も追加されている。

改正後の対象者は精神障害者の方が34名増、全体では67名減の315名。総支給額は972万円(約700万円減)の見込み。

●企業立地促進条例の改正

―地域における産業集積の形成及び活性化に関する法律の同意を得たため、条例を改正する。基本計画では、「目標達成に向けて地元市町の優遇措置等の拡充を図るなどの環境整備を行う」とあり、上郡町、佐用町、たつの市における制度の統一を図ることから工場緑化奨励金、雇用奨励金について改正する。

●緑地面積の判断基準、常時雇用従業員の数について

―指定業者申請書の緑地面積が基準となる。雇用奨励金

は、年度末をもって1年間雇用されている従業員が対象になる。

以上、各委員会に付託された案件について、本会議場においても委員長報告のとおりすべての議案が賛成多数により可決された。

すべて採択

平成19年度予算の補正 (単位:千円)

一般会計	2億40,798 (減)
国民健康保険事業会計	35,608 (減)
老人保健医療事業会計	31,315 (増)
介護保険事業会計	19,734 (減)
水道事業会計	28,606 (増)
簡易水道事業会計	21,610 (増)
農業集落排水事業会計	15,152 (増)
公共下水道事業会計	3,113 (減)

委員会活動報告

総務文教常任委員会

●高い落札額

年末から1月にかけて落札率が非常に高く、町民に疑惑を持たれているおそれが懸念され、執行体制について説明を求めた。

設計額、予定価格について問題はなく、執行方法については近隣の状況も参考にしたうえで再度検討するとの答弁であった。

●中学校建設、20年度に完成見込み

調整池が完了。校舎棟は12月中に完了予定。通学路は20年度に決定予定である。

●パブリックコメント制度の導入・4月から

参画と協働によるまちづくりを目指す。町の基本的な施策や各分野の基本的事項を定める計画および条例案、大規模公共工事など、町政への積



希望に胸ふくらませて

極的な参加の機会を提供し、行政運営の公正の確保と透明性の向上を図る。

●広報誌に有料広告を導入

自主財源確保と地域経済の活性化などを目的とし、かみごおり広報、ホームページ、窓口封筒やポスター、パンフレットなどに広告を掲載する。掲載にあたっては制限や範囲、規格などを要綱で定めている。

土木水道常任委員会

●駅前土地区画整理事業

事業の進捗率 84・1%
残事業費 12億円

施工期間 平成26年度まで延長された。

●下水道接続率 83%

未接続世帯に案内文書を郵送、接続困難な世帯には、理由書の提出を要請して、接続率の向上に努める。

●安全な水の確保のために

赤松・与井水源の浄水方法変更と、大杉野簡易水道の上水道への統合に係る実施設計委託料が平成20年度予算に上程された。

厚生経済常任委員会

●戸籍の電算化に向けて

県下41団体中、当町を含む5団体が未導入。本年度から取り組む予定で準備をしている。

●上郡分団消防屯所の移転

河川改修に伴い、本年度早速に移転することに。仮設屯所及び移設場所は、上郡区、当該消防団との協議を進める。

●生活習慣病とメタボ対策

国民健康保険に特定健康診査が義務付けられたことから実施計画を策定。

計画期間は、本年度より5カ年計画で3年後に見直す。

実施方法は町ぐるみ健診に合わせ6月から7月に保健センターで予定。

●今年の川まつり

8月3日(日)に開催の予定。

●保育料見直し

保育所運営経費は、町が5割以上を負担、国・県及び保護者負担割合は低下し、現在の保育料は、国基準よりも低く設定している。近隣の状況を参考にし、応分の負担をいたすため改正。
(月額2,000円、3,000円の増額)

意見

少子化対策や子育て支援の充実のために、改正は行わないで欲しい。

●福祉施設の状況について

○認知症対応型グループホーム4月末に竣工、5月から事業開始の予定。
○高嶺の郷に増床する事業は工事未着工のため、平成20年度に繰越し。

○特別養護老人ホーム(野桑の里)4月末に完成予定
入居は5月頃になる見込。

意見

水稻配分基準単収のあり方について、生産者の理解が得られるように努力されたい。又、旬彩蔵で販売されている上郡産米について、十分に安定供給できる方法を検討して欲しい。

●平成20年度水稻作付(生産調整)目標面積の割当て	
水稻目標面積	470 ha
転作目標面積	333 ha



藤本祐規 議員

問 近年、若者の政治意識の低下が問題として取り上げられることが多くなっている。

問 若者が住みたくなくなる町に
答 定住環境の基盤を整える

若者の政治参加について

答 協働のまちづくりを推進していく中で、子ども議会の開催など小中学生を含む若い世代の発想力、行動力も取り入れ役立てていくべきであると思うが、町長の考えをお伺いする。

答 情報をわかりやすく提供しながら、あらゆる世代の意見を聞き具現化していけるシステムづくりをする。

子ども議会については、政

若者の定住化対策について

問 若者の定住化促進は、まちづくりの重点課題であり、

答 賛成。政治参加を皆で作りに上げるシステムが必要ではないか。

問 18歳以上に選挙権を与え成人とすることについてどうか。

答 商店の協賛・協力を得るなど町全体で取り組むような斬新なアイデアが必要である。そこで、本町における定住化対策についてお尋ねする。

答 道路やCATVの情報網を整備したり、企業誘致や雇用促進、子育て支援により定住環境の基盤を作っていくたい。また商工会等とも相談しながら、CATVを多方面に活用し町の活性化につなげていきたい。



小学生の傍聴風景

● 山野里工業団地公園工事の変更について

中学校用地の埋め立て用土砂2,300m³が、埋め立て用として不適切であると判明したため、土質改良を行った上で公園において処理する。そのため、公園地面高さが50cm高くなり、工事費についても、236万5,000円増額の2,336万6,500円になるとの報告を受けた。



完成した野桑の里

千種川床上浸水対策
特別緊急事業特別委員会

● 河川改修の進捗状況

○ 竹万地区内の護岸・築堤工事、千種川樋門工事のゲート本体工事は5月末完了予定。

○ 隈見橋仮橋架設は工事発注が遅れ着手を平成20年秋に変更。

● 上郡中学校建設の進捗

平成21年度4月開校に向け

計画通りの進捗。

建物本体は、ほぼ12月中旬に仕上がる。周辺道路等については3月までに道路、水路形態が完了。

山野里踏切までに自転車のたまり場をJR神戸支社に要望。

人事案件

上郡町固定資産評価審査委員会委員の横谷正美氏が5月23日付で任期満了となりますので、引続き同氏の選任が提案されました。